

第 11 期第 1 回福岡市男女共同参画審議会（令和 7 年 2 月 6 日）

男女共同参画に関するデータ集

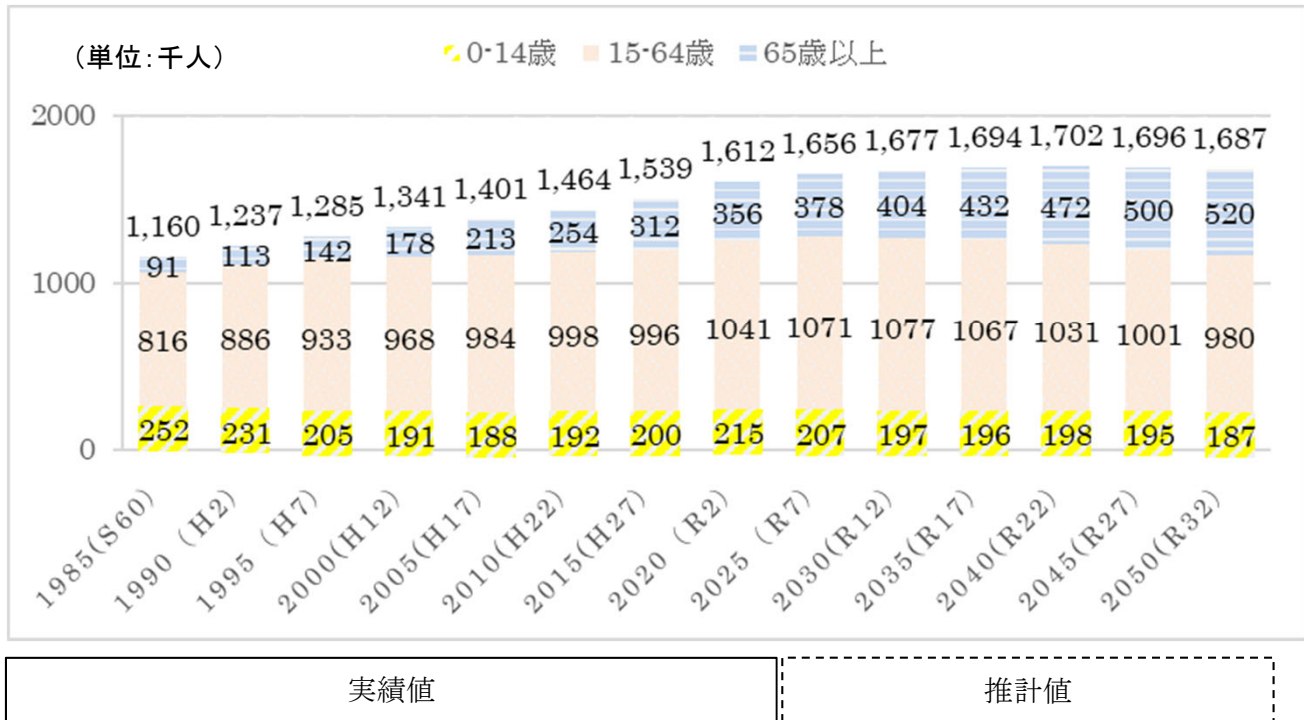
目 次

項 目		ページ
福岡市の現状	福岡市の人口推移と推計人口	1
	福岡市の人口・推計人口における年齢構造の変化	
	人口構成ピラミッド	2
	生産年齢人口における男女構成比	
	単独世帯の推移と将来推計	3
	合計特殊出生率の推移	
	平均初婚年齢の推移	4
	未婚率の推移	
基本目標 1	社会全体で見た場合の男女の地位の平等感	5
	男女の固定的な役割分担意識の解消度	6
	男女が社会のあらゆる分野で平等になるために重要なこと	7
	女性が職業をもつことについて	8
基本目標 2	恋人、配偶者、パートナーから暴力を受けた経験	9
	福岡市DV相談件数の推移	10
	暴力を受けた際に実際に取った行動	11
基本目標 3	男性が育児休業や子の看護休暇を取得することについて	12
	男性が介護休業を取得することについて	
	家庭生活における男女の地位の平等感	13
	ワーク・ライフ・バランスを推進するための取組みの必要性	14
基本目標 4	職場における男女の地位の平等感	15
	女性の年齢階級別の有業率	16
	企業における女性管理職比率	
基本目標 5	福岡市の審議会等委員への女性の参画状況の推移	17
	福岡市職員における女性の割合の推移	
	国際比較における男女格差の指標	18
	地域における諸団体の長への女性の参画状況	19
	地域における団体のリーダーに女性が少ない理由について	

福岡市の現状

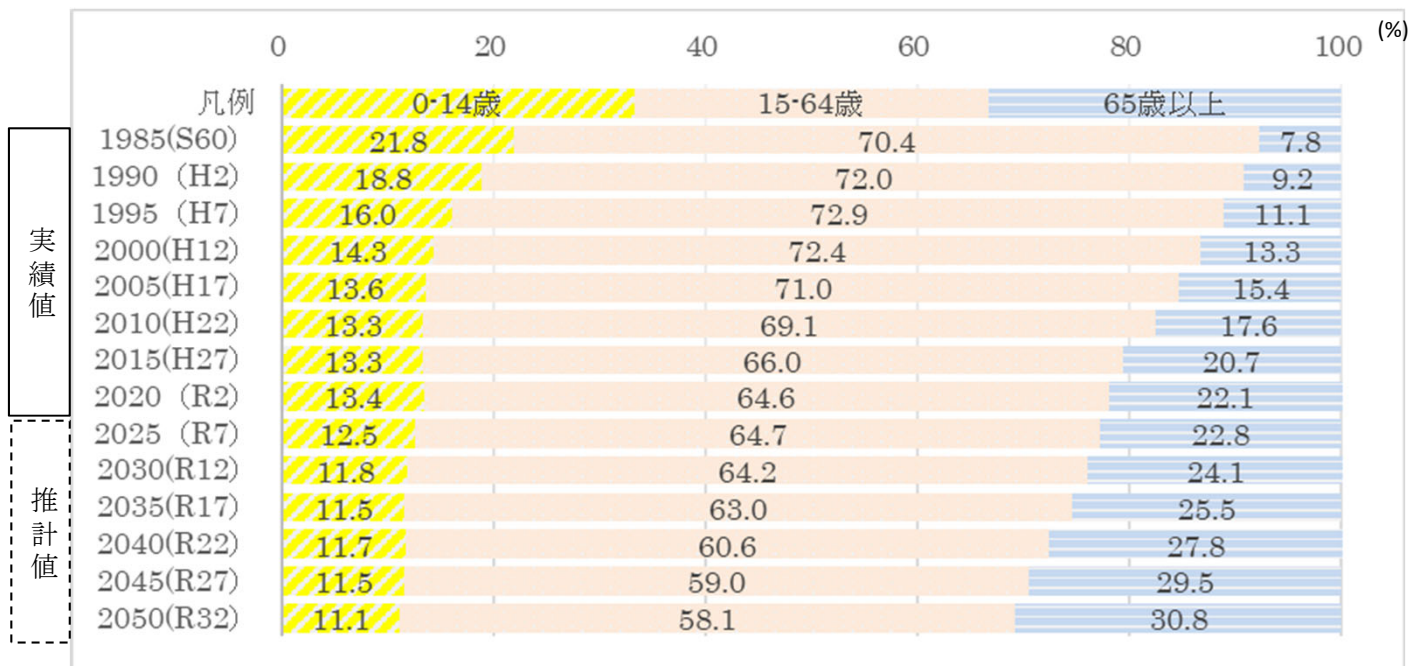
福岡市の人口

○ 福岡市の人口推移と将来人口推計(1985年～2050年)



資料:総務省「国勢調査」、福岡市総務企画局「福岡市の将来人口推計」(令和6年4月)

○ 福岡市の人口・推計人口における年齢構造の変化(1985年～2050年)

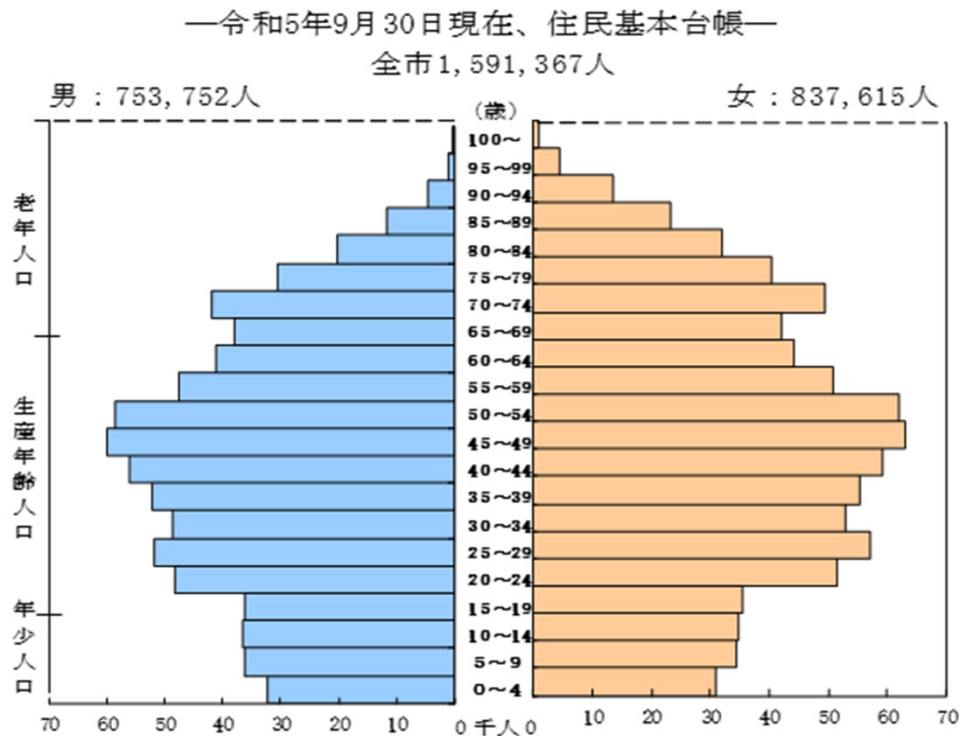


※年齢不詳を除く

資料:総務省「国勢調査」、福岡市総務企画局「福岡市の将来人口推計」(令和6年4月)

福岡市の現状

○人口構成ピラミッド(男女・年齢構成 福岡市) 年齢別階層構成



資料：総務企画局統計調査課

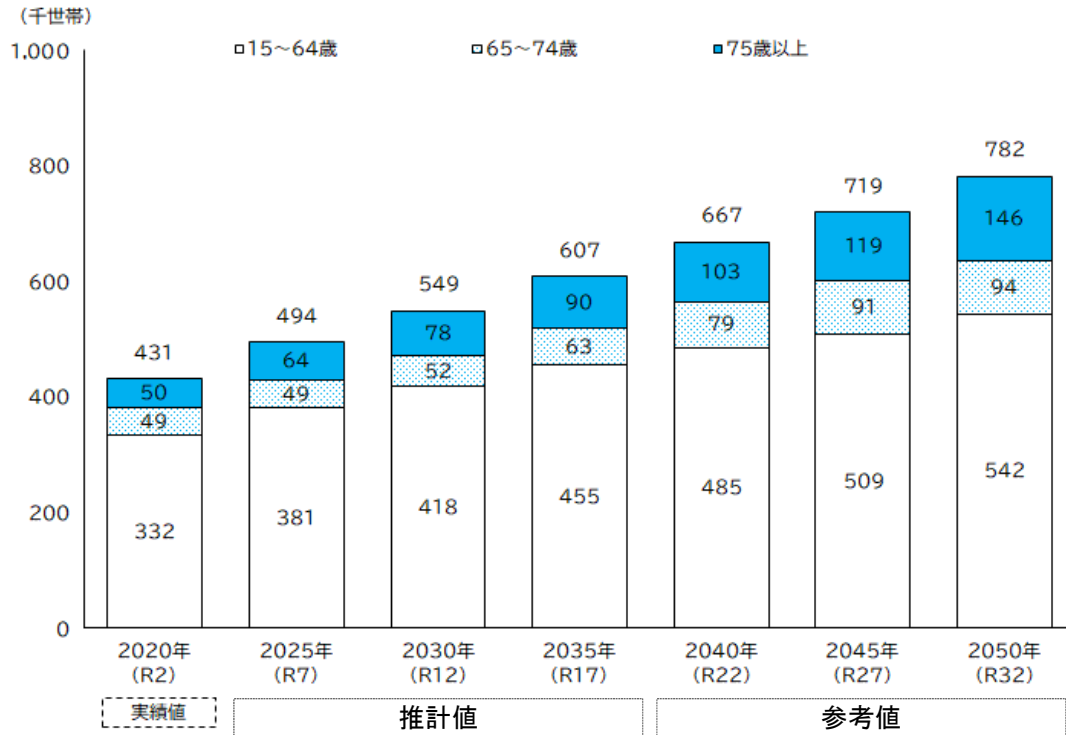
○生産年齢人口における男女構成比

年代	福岡市 (単位：人)		全国 (単位：千人)	
	男性	女性	男性	女性
15～19	37,066(49.9%)	37,116(50.1%)	2,880(51.3%)	2,737(48.7%)
20～24	47,385(48.1%)	51,036(51.9%)	3,018(50.9%)	2,913(49.1%)
25～29	45,280(46.3%)	52,604(53.7%)	3,074(51.0%)	2,958(49.0%)
30～34	46,831(47.4%)	52,010(52.6%)	3,297(50.8%)	3,188(49.2%)
35～39	51,659(47.8%)	56,315(52.2%)	3,697(50.6%)	3,615(49.4%)
40～44	55,379(48.1%)	59,821(51.9%)	4,189(50.5%)	4,102(49.5%)
45～49	59,338(48.4%)	63,331(51.6%)	4,863(50.4%)	4,787(49.6%)
50～54	49,924(48.1%)	53,972(51.9%)	4,277(50.1%)	4,263(49.9%)
55～59	43,324(48.2%)	46,479(51.8%)	3,865(49.8%)	3,902(50.2%)
60～64	39,048(48.0%)	42,380(52.0%)	3,593(49.2%)	3,704(50.8%)
(参考)				
全人口	761,148(47.2%)	851,244(52.8%)	61,350(48.6%)	64,797(51.4%)

資料：総務省 国勢調査

福岡市の現状

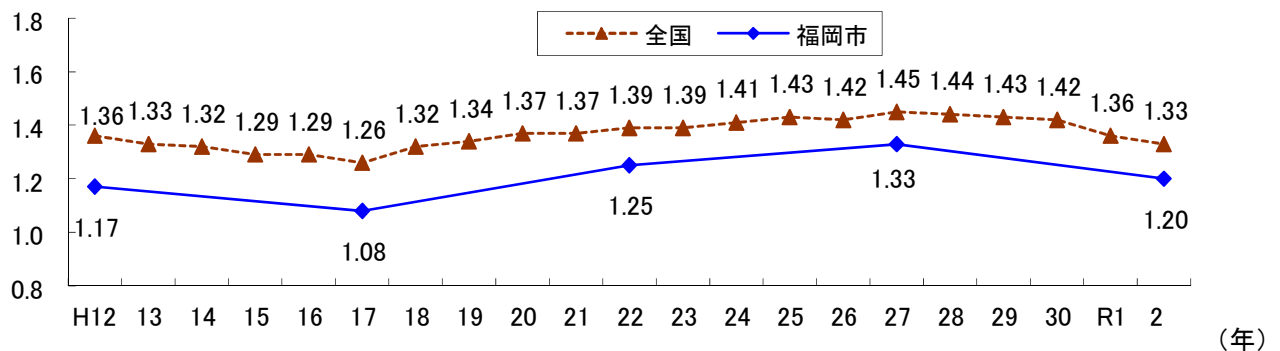
○単独世帯の推移(年齢階層別)



資料:福岡市総務企画局「福岡市の将来人口推計」(令和6年4月)

○合計特殊出生率の推移

(人)



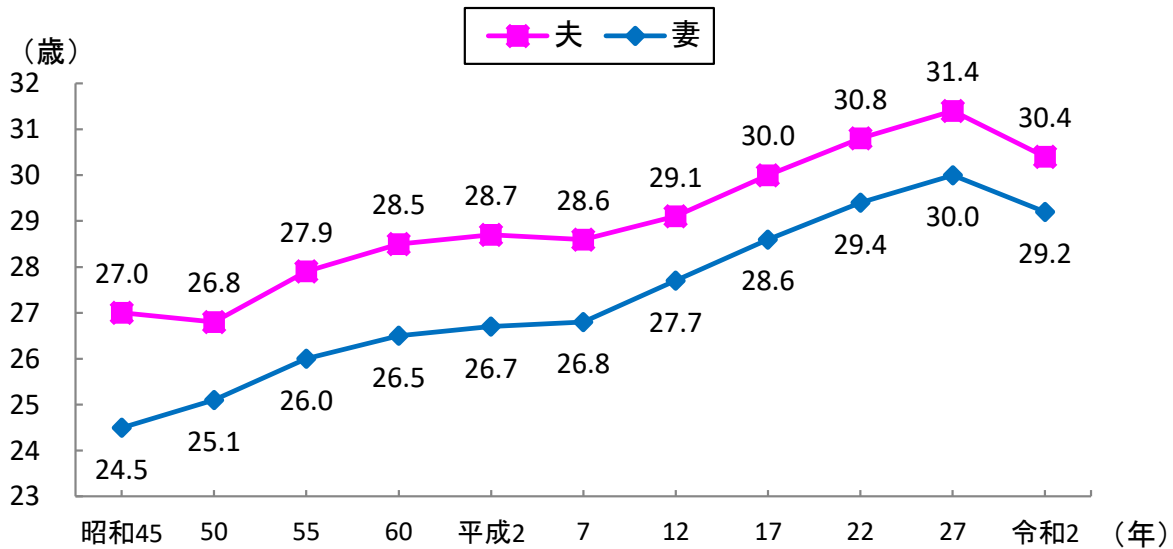
※現人口を維持するのに必要な水準は2.07

※福岡市は、国勢調査結果に基づいて算出

資料:厚生労働省 令和2年人口動態統計

福岡市の現状

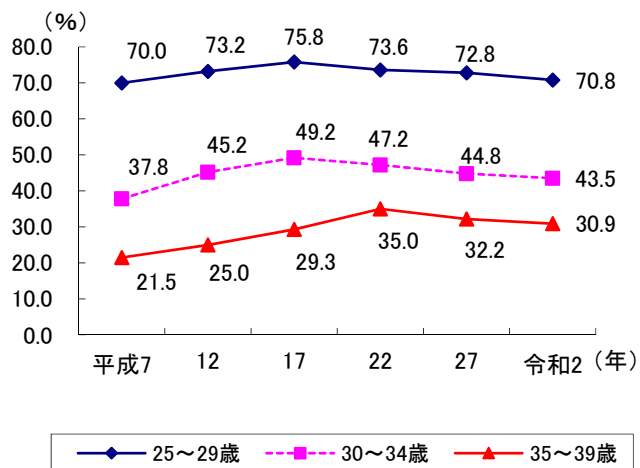
○ 平均初婚年齢の推移(福岡市)



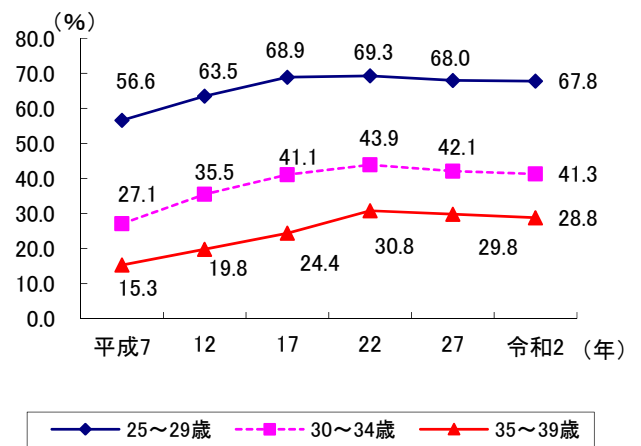
資料:厚生労働省 令和2年人口動態調査

○ 未婚率の推移(福岡市)

<男 性>



<女 性>

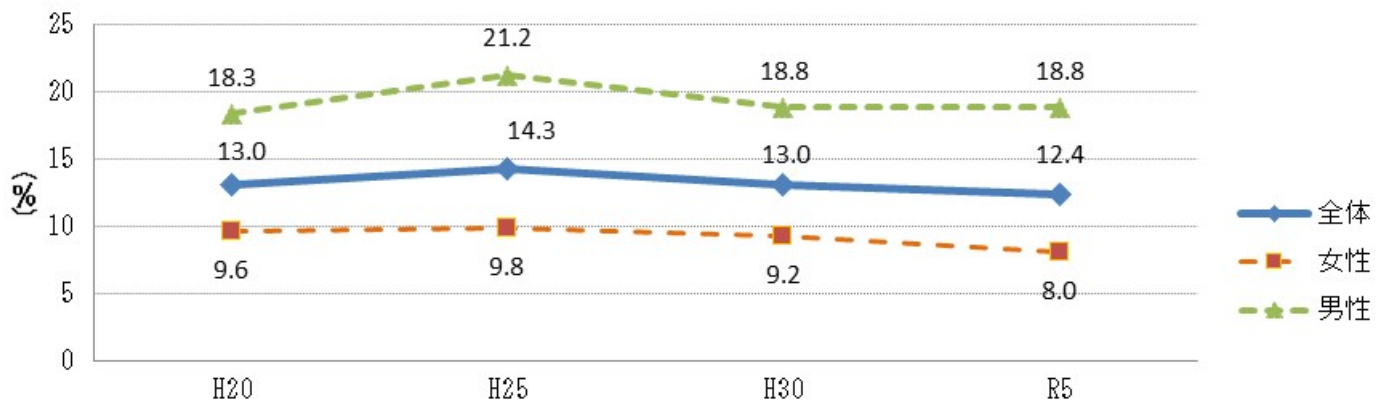


資料:総務省 国勢調査

基本目標 1

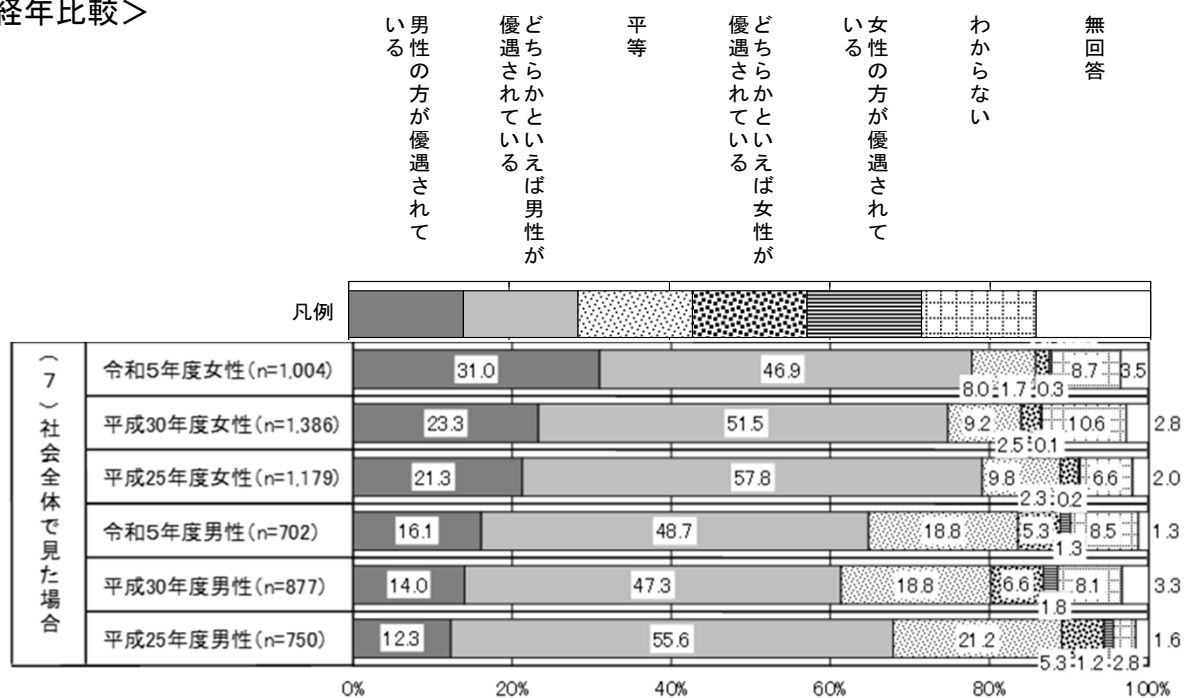
あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

○社会全体で見た場合の男女の地位の平等感 (平等と回答した人の割合)



資料：H25 男女共同参画社会に関する意識調査
H20・30・R5 市政に関する意識調査

<経年比較>

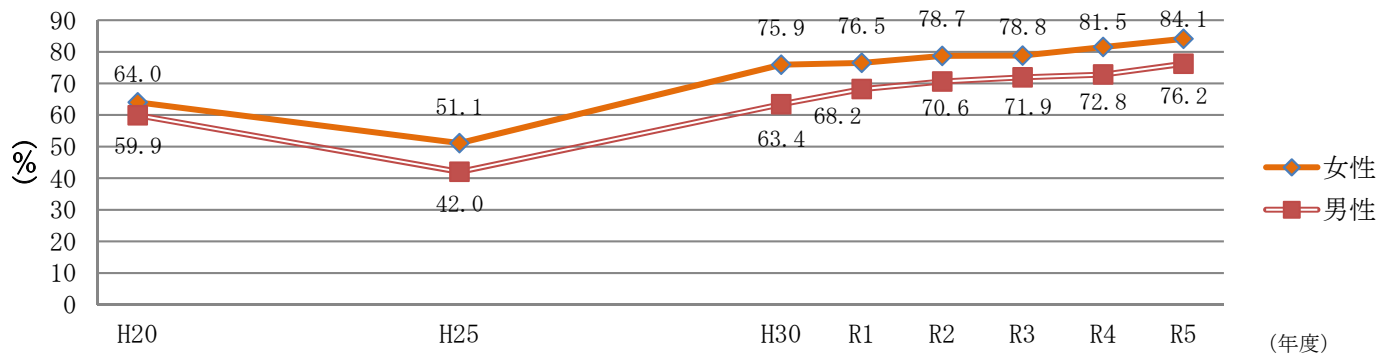


基本目標 1

あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

○男女の固定的な役割分担意識の解消度

「男は仕事、女は家庭を守るべき」という固定概念を持たない市民の割合
(男女別比較)



資料：H20 市政に関する意識調査
H25 男女共同参画社会に関する意識調査
H30～R5 福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査

○男女別、年代別比較

	サンプル数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体	100.0 1952	3.2 62	15.5 303	29.8 581	50.7 989	0.9 17
男性計	100.0 839	4.1 34	19.1 160	30.0 252	46.2 388	0.6 5
男性18～19歳	100.0 12	- -	16.7 2	8.3 1	75.0 9	- -
男性20代	100.0 53	3.8 2	9.4 5	17.0 9	67.9 36	1.9 1
男性30代	100.0 88	2.3 2	6.8 6	19.3 17	71.6 63	- -
男性40代	100.0 116	3.4 4	18.1 21	25.0 29	53.4 62	- -
男性50代	100.0 180	1.7 3	20.6 37	33.9 61	43.9 79	- -
男性60代	100.0 154	3.9 6	14.3 22	34.4 53	46.1 71	1.3 2
男性70代以上	100.0 226	7.5 17	29.2 66	34.1 77	28.3 64	0.9 2
女性計	100.0 1089	2.3 25	12.8 139	29.6 322	54.5 593	0.9 10
女性18～19歳	100.0 14	- -	- -	28.6 4	71.4 10	- -
女性20代	100.0 74	2.7 2	4.1 3	17.6 13	74.3 55	1.4 1
女性30代	100.0 154	5.2 8	5.2 8	22.1 34	67.5 104	- -
女性40代	100.0 168	1.2 2	8.9 15	31.0 52	58.3 98	0.6 1
女性50代	100.0 201	1.5 3	11.4 23	29.4 59	57.2 115	0.5 1
女性60代	100.0 188	0.5 1	17.6 33	31.4 59	50.5 95	- -
女性70代以上	100.0 270	3.3 9	20.0 54	34.8 94	39.6 107	2.2 6

『そう思う』	『そう思わない』
18.7 365	80.5 1570
23.2 194	76.2 640
16.7 2	83.3 10
13.2 7	84.9 45
9.1 8	90.9 80
21.5 25	78.4 91
22.3 40	77.8 140
18.2 28	80.5 124
36.7 83	62.4 141
15.1 164	84.1 915
0.0 0	100.0 14
6.8 5	91.9 68
10.4 16	89.6 138
10.1 17	89.3 150
12.9 26	86.6 174
18.1 34	81.9 154
23.3 63	74.4 201

資料：令和5年度福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査

あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

		無回答	わからない	その他	政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実にすること	女性の就業、社会参加への支援する施設やサービスの充実を図ること	女性自身が経済力を得たり、知識・技術の向上を図ること	偏見を取り巻くさまざまな慣習・しきたりを改めること	法律や制度の上での見直しを行い、女性差別につながるものを改めること
凡例									
全体 (N=1,730)		6.7	7.4	2.5	10.3	8.6	18.0	34.3	12.3
性別	女性 (n=1,004)	6.9	6.0	1.7	10.8	10.6	19.1	34.8	10.3
	男性 (n=702)	5.4	9.5	3.4	9.5	5.6	17.0	34.2	15.4

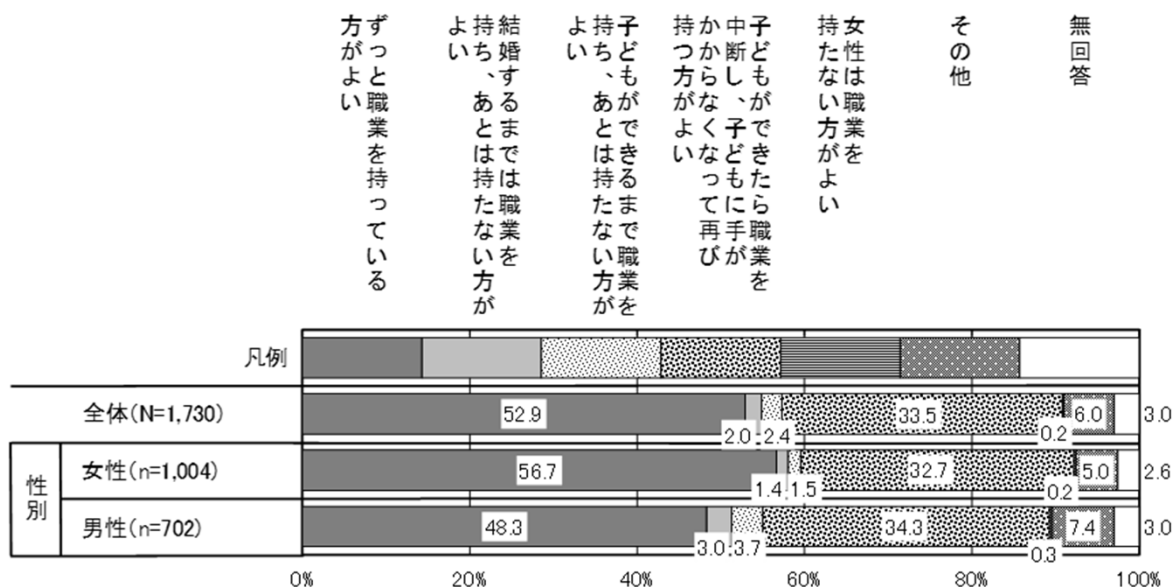
	法律や制度の上での女性差別に 見直しを行い、女性差別を つなげるものを改めること	慣習・しきたりを改める こと	女性自身が進むべきまな 女性を取り巻く社会的な 偏見・固定的な社会通念 の向上を図ること	女性自身が経済力を つけたたり、知識・技術 の向上を図ること	女性の就業、社会参加を 支援する施設やサービスの 充実を図ること	政府や企業などの重要な 役職に一定の割合で女性を 登用する制度を採用・充実 すること	その他	わからない	無回答
令和5年度女性 (n=1,004)	10.3	34.8	19.1	10.6	10.8	6.0	6.9		
平成30年度女性 (n=1,386)	9.8	32.2	22.2	13.1	7.0	8.9	4.8		
平成25年度女性 (n=1,179)	6.1	26.5	19.1	24.3	11.5	5.9	5.2		
令和5年度男性 (n=702)	15.4	34.2	17.0	5.6	9.5	9.5	5.4		
平成30年度男性 (n=877)	12.1	34.2	16.3	9.5	11.4	8.7	4.4		
平成25年度男性 (n=750)	9.9	27.6	19.2	15.9	13.3	8.4	3.7		

7

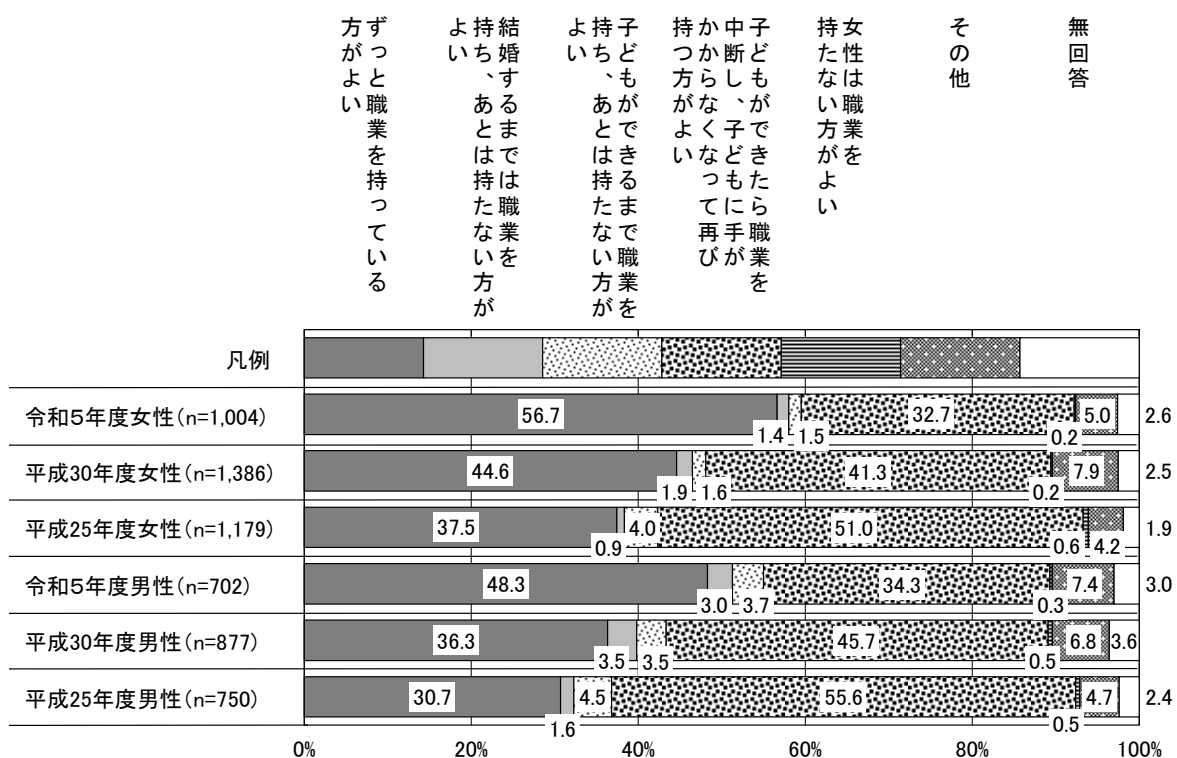
基本目標 1

あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

○ 女性が職業を持つことについて



<経年比較>



資料：令和5年度市政に関する意識調査

基本目標2

あらゆる暴力が根絶されるとともに、
誰もが安心して暮らせる社会

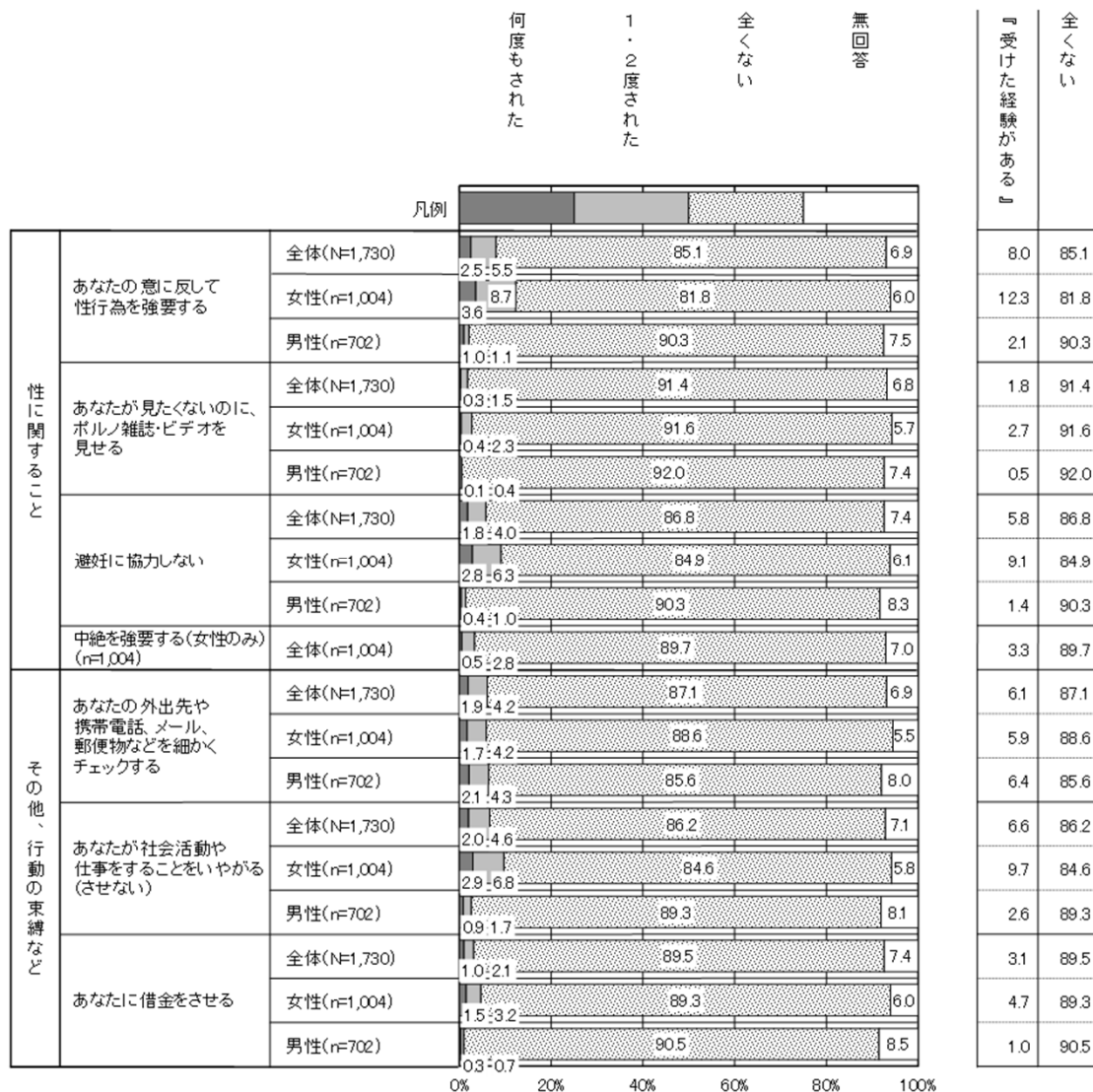
○ 恋人、配偶者、パートナーから暴力を受けた経験



基本目標2

あらゆる暴力が根絶されるとともに、誰もが安心して暮らせる社会

○ 恋人、配偶者、パートナーから暴力を受けた経験



○ 福岡市DV相談件数の推移

資料：令和5年度市政に関する意識調査

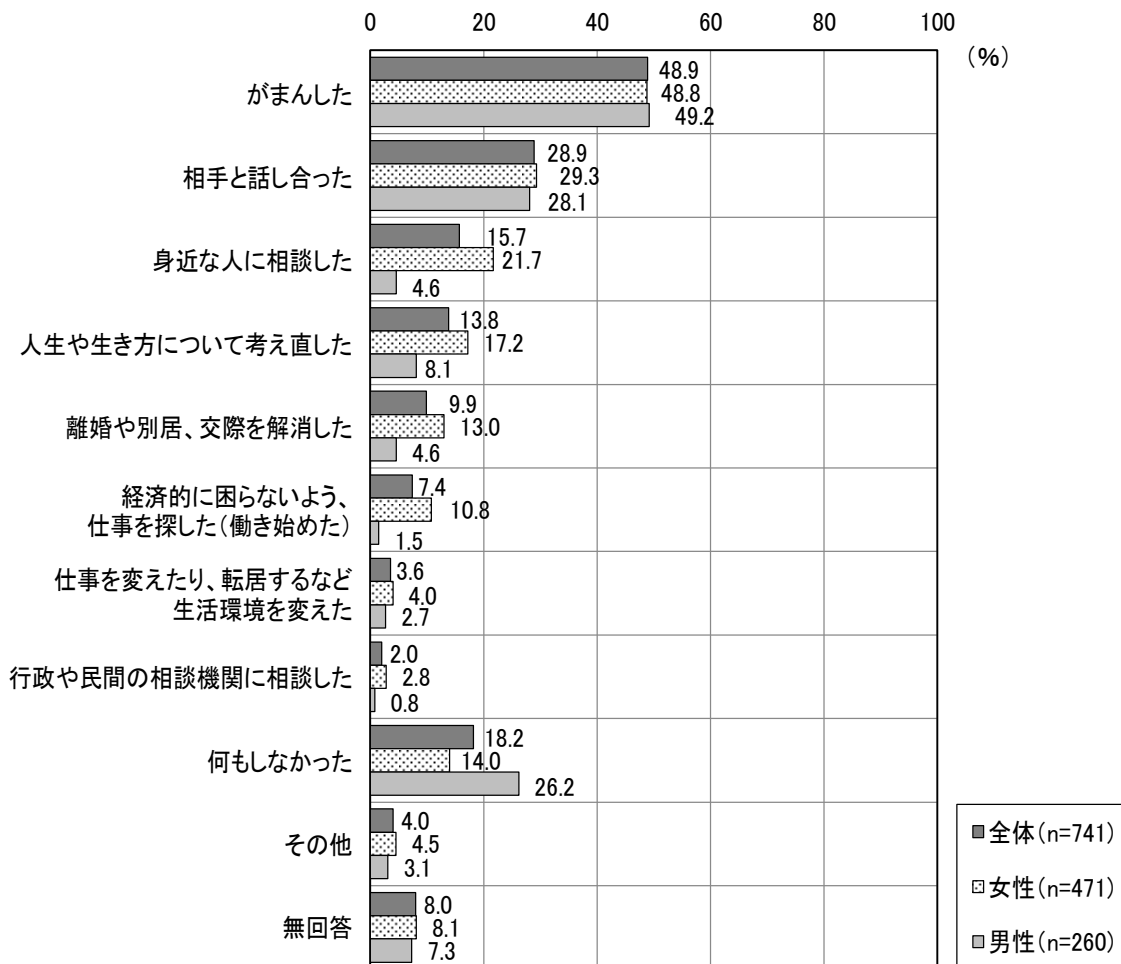
	男女共同参画推進センター・アミカス	区役所(保健福祉センター)	配偶者暴力相談支援センター	合計
元年度	699	2,142	345	3,186
2年度	547	3,566	382	4,495
3年度	582	3,224	389	4,195
4年度	557	2,422	336	3,315
5年度	611	3,259	360	4,230

資料：市民局男女共同参画課、事業推進課、こども未来局こども家庭課

基本目標2

あらゆる暴力が根絶されるとともに、
誰もが安心して暮らせる社会

○ 暴力を受けて、実際はどう行動したか

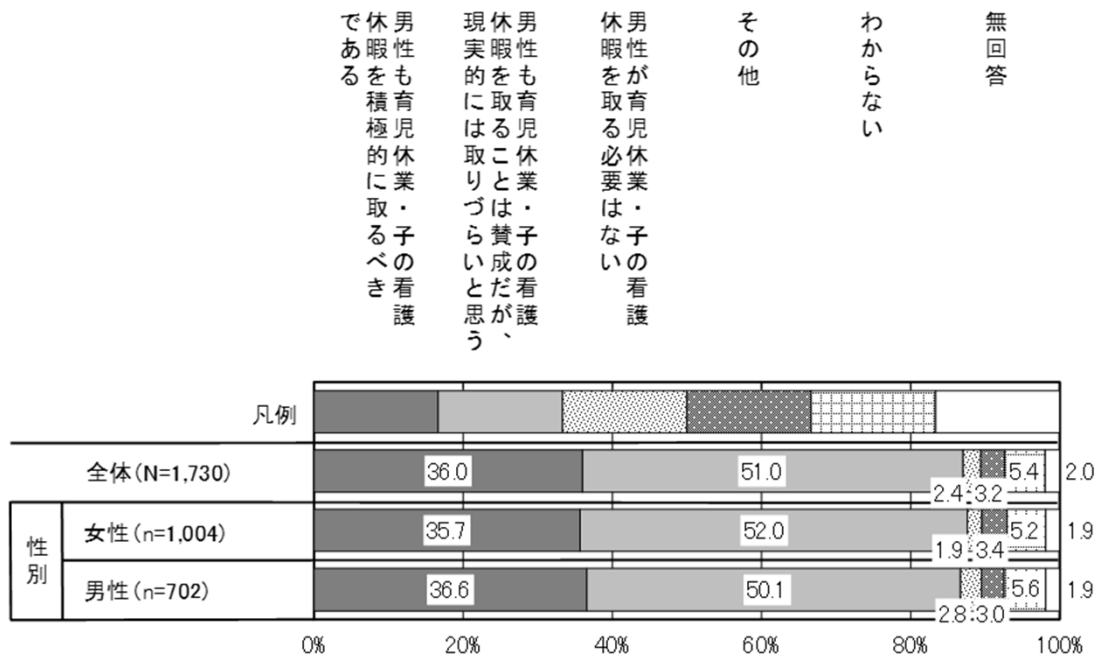


資料：令和5年度市政に関する意識調査

基本目標3

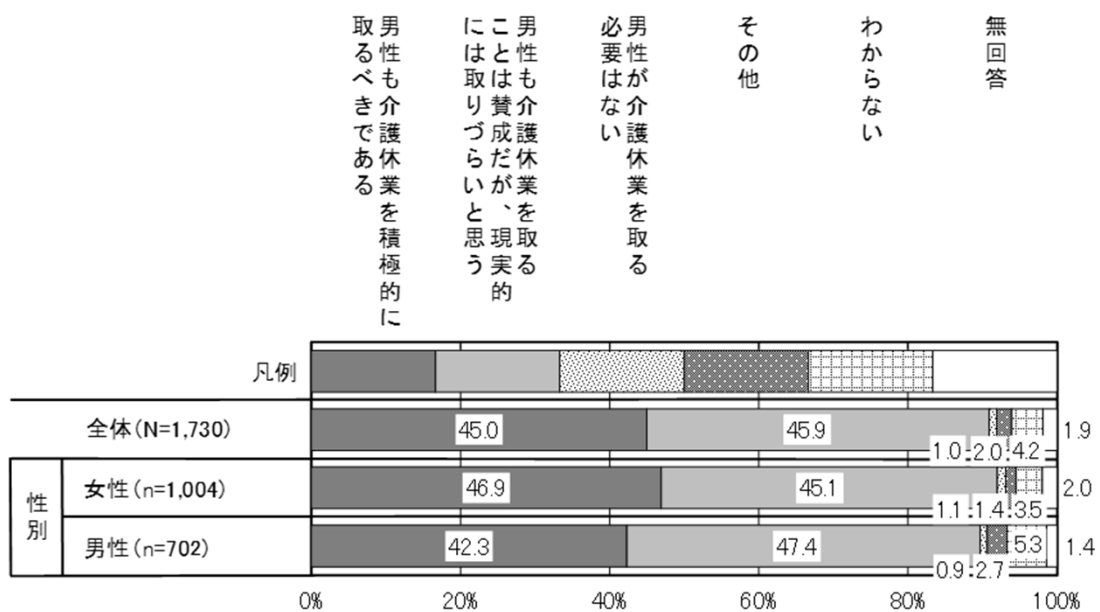
仕事と生活の調和が実現した社会

○ 男性が育児休業や子の看護休暇を取得することについて



資料：令和5年度市政に関する意識調査

○ 男性が介護休業を取得することについて

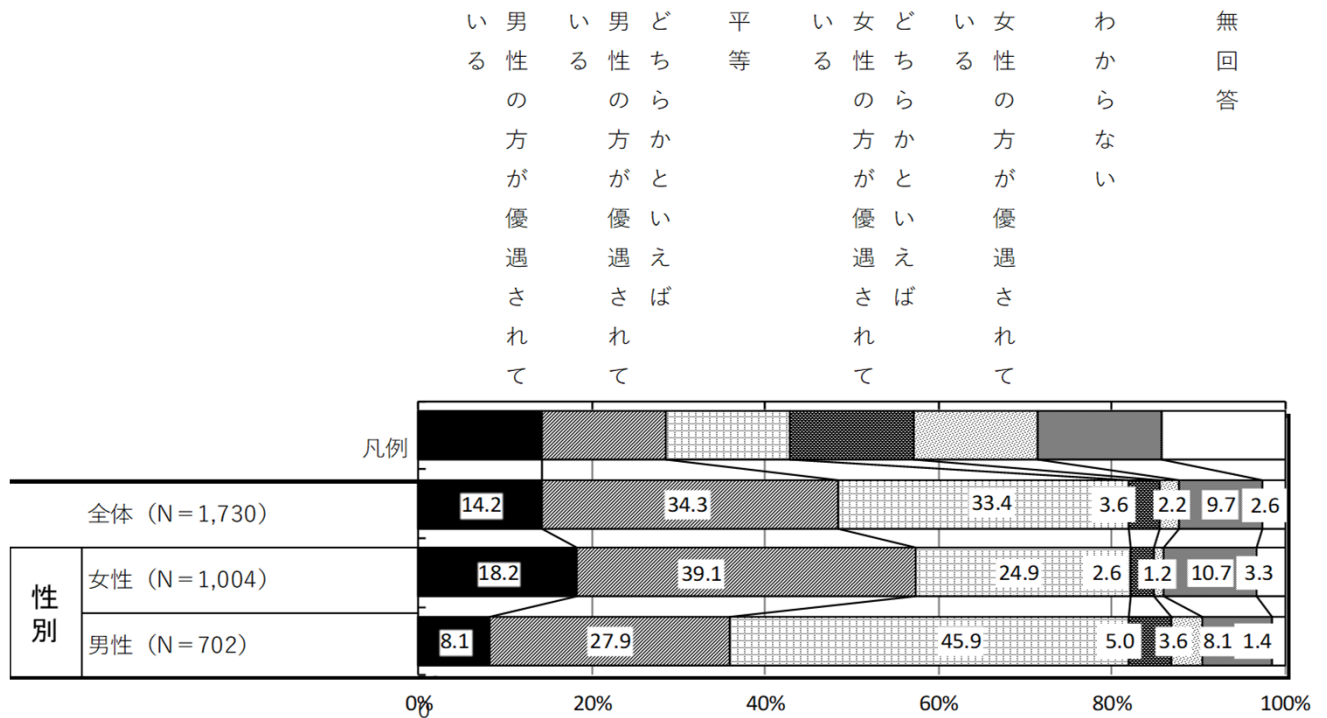


資料：令和5年度市政に関する意識調査

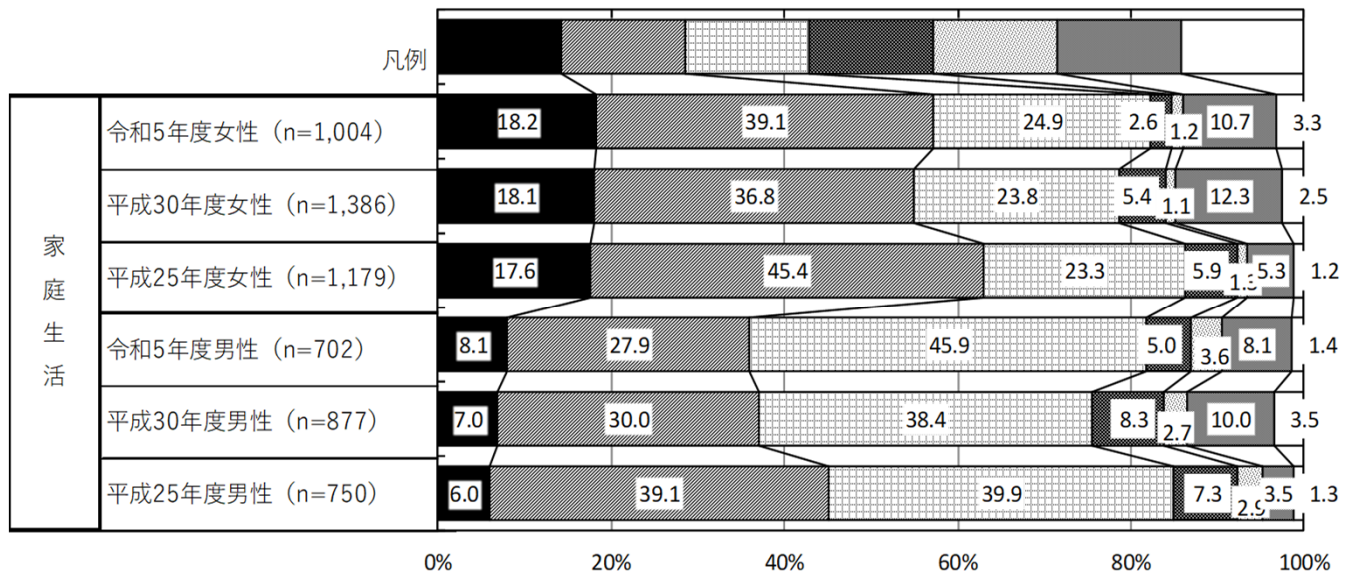
基本目標3

仕事と生活の調和が実現した社会

○ 家庭生活における男女の地位の平等感



<経年比較>

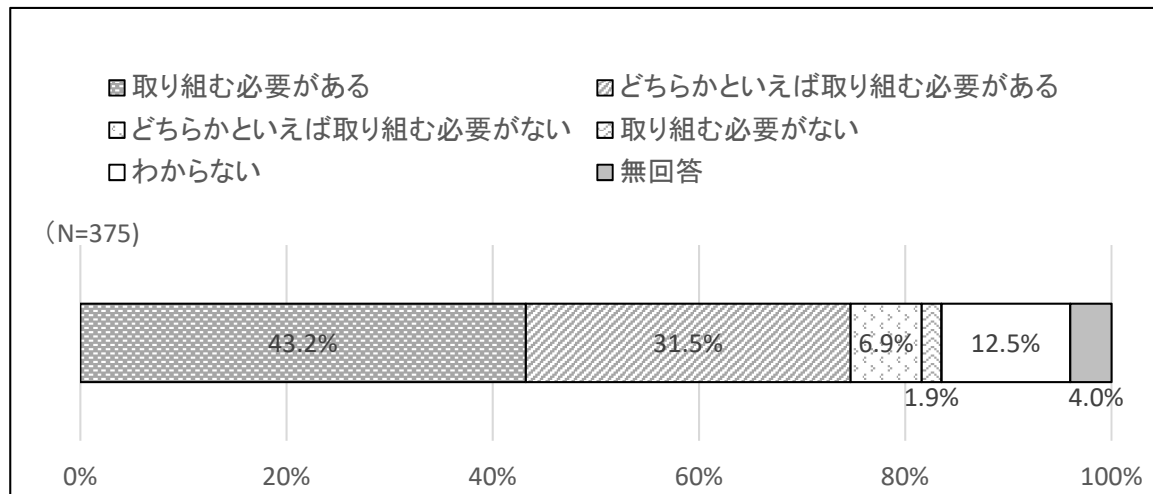


資料：令和5年度市政に関する意識調査

基本目標3

仕事と生活の調和が実現した社会

○ワーク・ライフ・バランスを推進するための取組みの必要性（事業所）

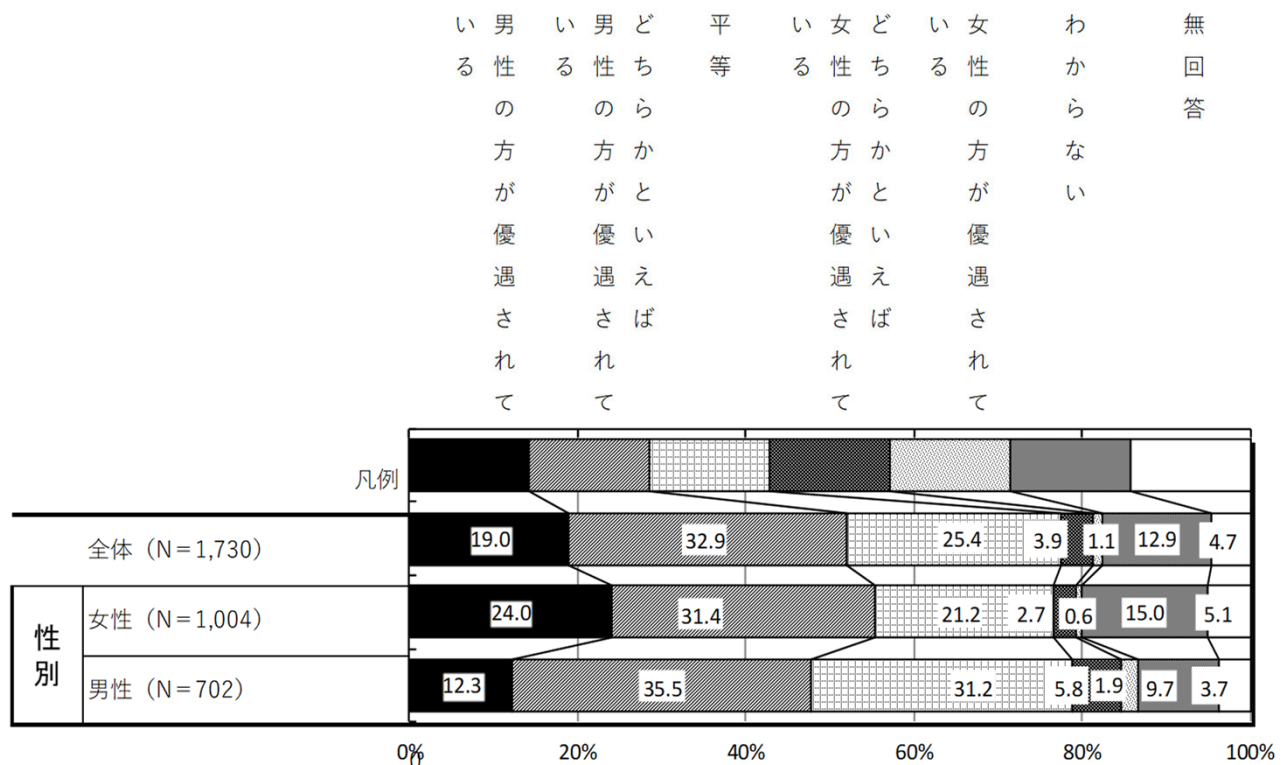


資料：令和元年度 福岡市女性活躍推進に関する事業所等実態調査

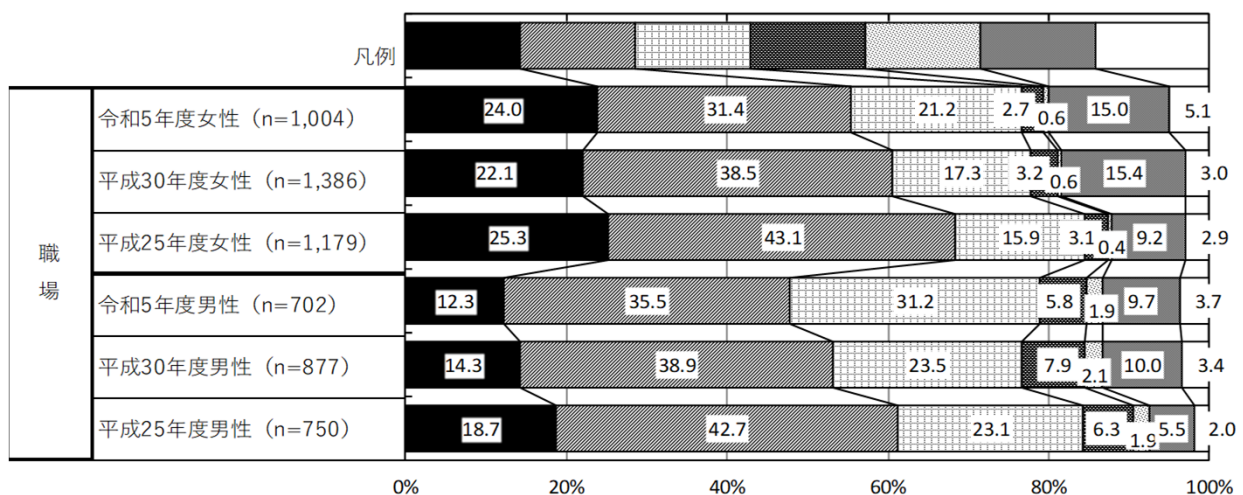
基本目標 4

働く場において女性が能力を発揮して
活躍できる社会

○ 職場における男女の地位の平等感



<経年比較>

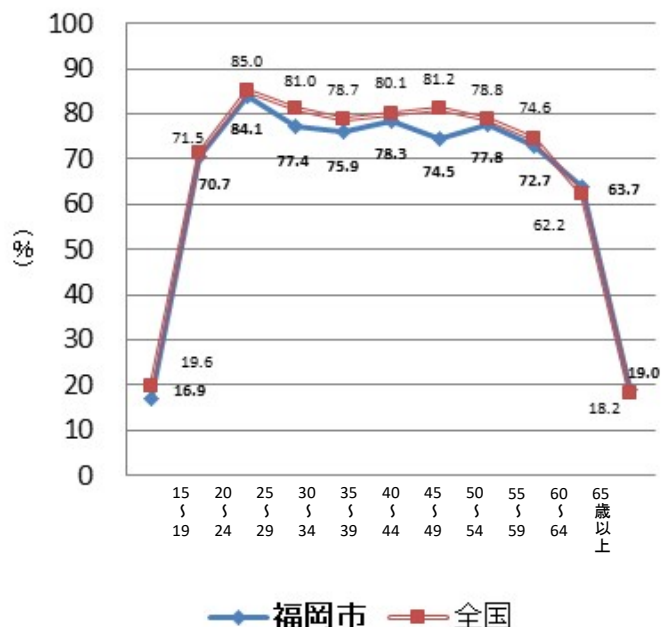


資料：令和5年度市政に関する意識調査

基本目標 4

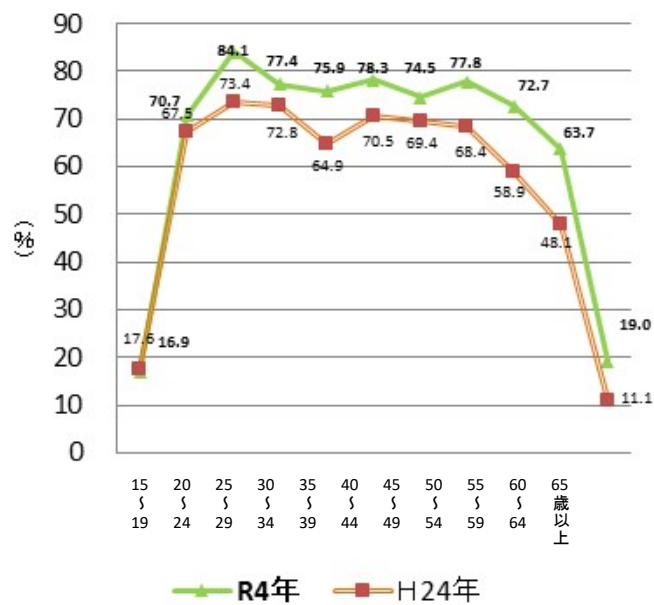
働く場において女性が能力を発揮して
活躍できる社会

○女性の年齢階級別の有業率
(福岡市、全国)



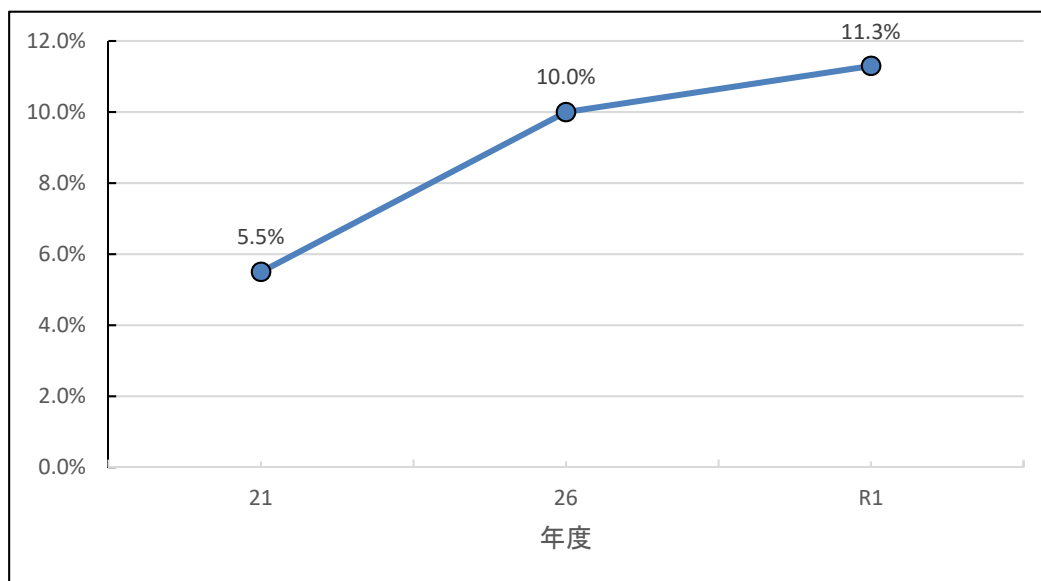
資料：総務省 令和4年就業構造基本調査

○女性の年齢階級別の有業率
(福岡市の平成24年と令和4年)



資料：総務省平成24年、令和4年就業構造基本調査

○企業における女性管理職比率

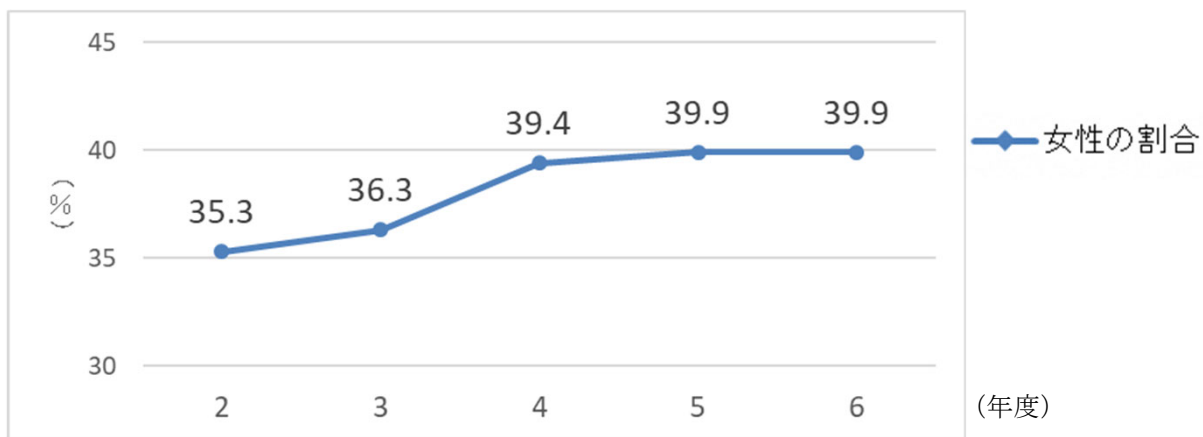


資料：平成21年度 福岡労働局「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に係る実態調査」
 平成26年度 福岡市女性労働実態調査
 令和元年度 福岡市女性活躍推進に関する事業所等実態調査

基本目標5

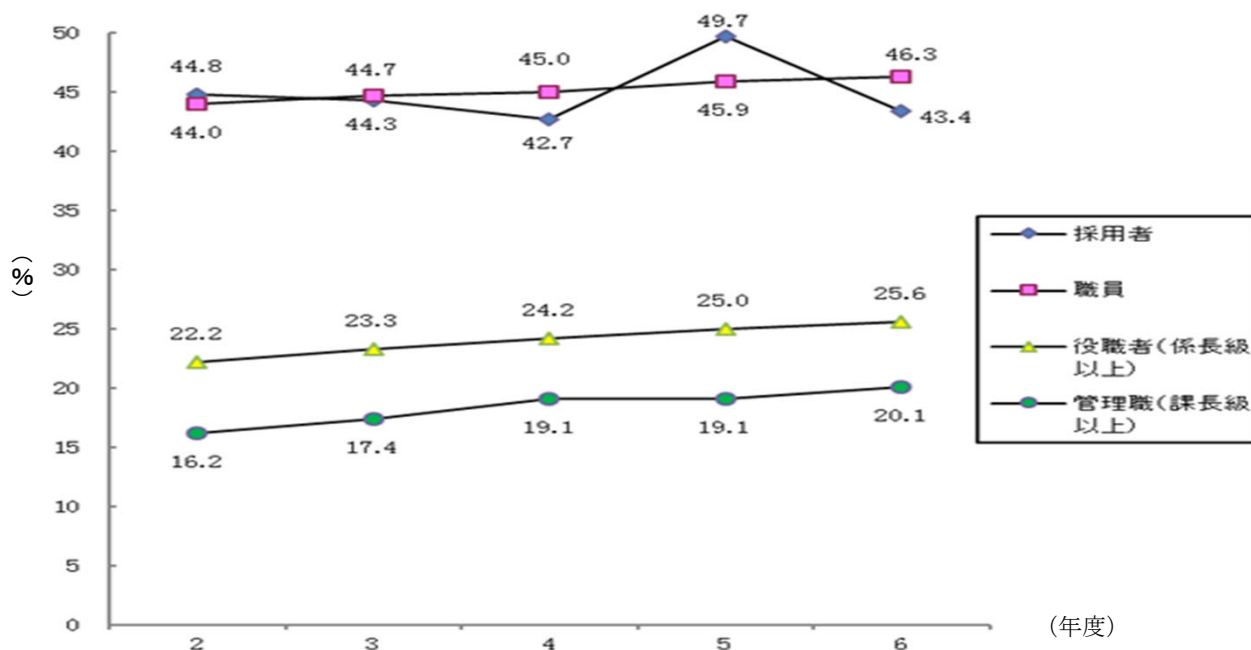
あらゆる意思決定過程に男女が共に
参画する多様性に富んだ社会

○ 福岡市の審議会等委員への女性の参画状況の推移



平成30年度：6月1日現在
令和元～5年度：8月1日現在
資料：市民局男女共同参画課

○福岡市職員における女性の割合の推移



注1：採用者の数は、人事委員会が実施する採用試験（上級、中級及び初級）の一般行政職（ただし、学校事務、文化財専門職及び科学技術は除く）

注2：採用者の数は採用年度ベース。令和6年度については5月1日現在の数

注3：職員数及び役職者、管理職の数は5月1日現在の数

注4：職員及び役職者、管理職には旧県費負担教職員を含む。

資料：総務企画局人事課

基本目標5

あらゆる意思決定過程に男女が共に
参画する多様性に富んだ社会

○国際社会における男女間格差の指標

(1) HDI (人間開発指数)

順位	国名	HDI値
1	スイス	0.967
2	ノルウェー	0.966
3	アイスランド	0.959
4	香港	0.956
5	デンマーク	0.952
5	スウェーデン	0.952
7	ドイツ	0.950
7	アイルランド	0.950
10	オーストラリア	0.946
10	オランダ	0.946
12	ベルギー	0.942
12	フィンランド	0.942
15	英国	0.940
16	ニュージーランド	0.939
18	カナダ	0.935
19	韓国	0.929
20	ルクセンブルク	0.927
20	米国	0.927
22	オーストリア	0.926
22	スロベニア	0.926
24	日本	0.920

(2) GII (ジェンダー不平等指数)

順位	国名	GI値
1	デンマーク	0.009
2	ノルウェー	0.012
3	スイス	0.018
4	スウェーデン	0.023
5	オランダ	0.025
6	フィンランド	0.032
9	アイスランド	0.039
10	ルクセンブルク	0.043
11	ベルギー	0.044
12	オーストリア	0.048
13	スロベニア	0.049
14	イタリア	0.057
15	スペイン	0.059
16	韓国	0.062
17	オーストラリア	0.063
18	カナダ	0.069
19	ドイツ	0.071
20	アイルランド	0.072
21	ポルトガル	0.076
22	日本	0.078

(3) GGI (ジェンダーギャップ指数)

順位	国名	GGI値
1	アイスランド	0.935
2	フィンランド	0.875
3	ノルウェー	0.875
4	ニュージーランド	0.835
5	スウェーデン	0.816
7	ドイツ	0.810
14	英国	0.789
22	フランス	0.781
36	カナダ	0.761
43	アメリカ	0.747
87	イタリア	0.703
94	韓国	0.696
106	中国	0.684
116	バーレーン	0.666
117	ネパール	0.664
118	日本	0.663
119	コモロ	0.663
120	ブルキナファソ	0.661

(備考) 1. HDI及びGIIは国連開発計画(UNDP)「人間開発報告書2023/2024」、GGIは世界経済フォーラム「The Global Gender Gap Report2024」より作成。

2. 測定可能な数は、HDI及びGIIは193の国と地域、GGIは146か国。そのうち、上位5位及びOECD加盟国(38か国)を抽出。

HDI 人間開発指数 (Human Development Index)

国連開発計画(UNDP)による指数で、「長寿で健康な生活」、「知識」及び「人間らしい生活水準」という3つの側面を測定したもの。具体的には、出生時の平均寿命、知識(平均就学年数及び予想就学年数)、1人当たり国民総所得(GNI)を用いて算出している。

GII ジェンダー不平等指数 (Gender Inequality Index)

国連開発計画(UNDP)による指数で、国家の人間開発の達成が男女の不平等によってどの程度妨げられているかを明らかにするもの。次の3側面5指標から構成されている。

【保健分野】妊産婦死亡率、15-19歳の女性1,000人当たりの出生数

【エンパワーメント】国会議員女性割合、中等教育以上の教育を受けた人の割合(男女別)

【労働市場】労働力率(男女別)

GGI ジェンダーギャップ指数 (Gender Gap Index)

世界経済フォーラムが、各国内の男女間の格差を数値化しランク付けしたもので、経済分野、教育分野、政治分野及び保健分野のデータから算出され、「0」が完全不平等、「1」が完全平等を意味しており、性別による格差を明らかにできる。具体的には、次のデータから算出される。

【経済分野】労働参加率の男女比、同一労働における賃金の男女格差、推定勤労所得の男女比、管理的職業従事者の男女比、専門・技術者の男女比

【教育分野】識字率の男女比、初等教育就学率の男女比、中等教育就学率の男女比、高等教育就学率の男女比

【健康分野】出生時性比、健康寿命の男女比

【政治分野】国会議員の男女比、閣僚の男女比、最近50年における行政府の長の在任年数の男女比

基本目標5

あらゆる意思決定過程に男女が共に
参画する多様性に富んだ社会

○ 地域における諸団体の長への女性の就任状況(福岡市)

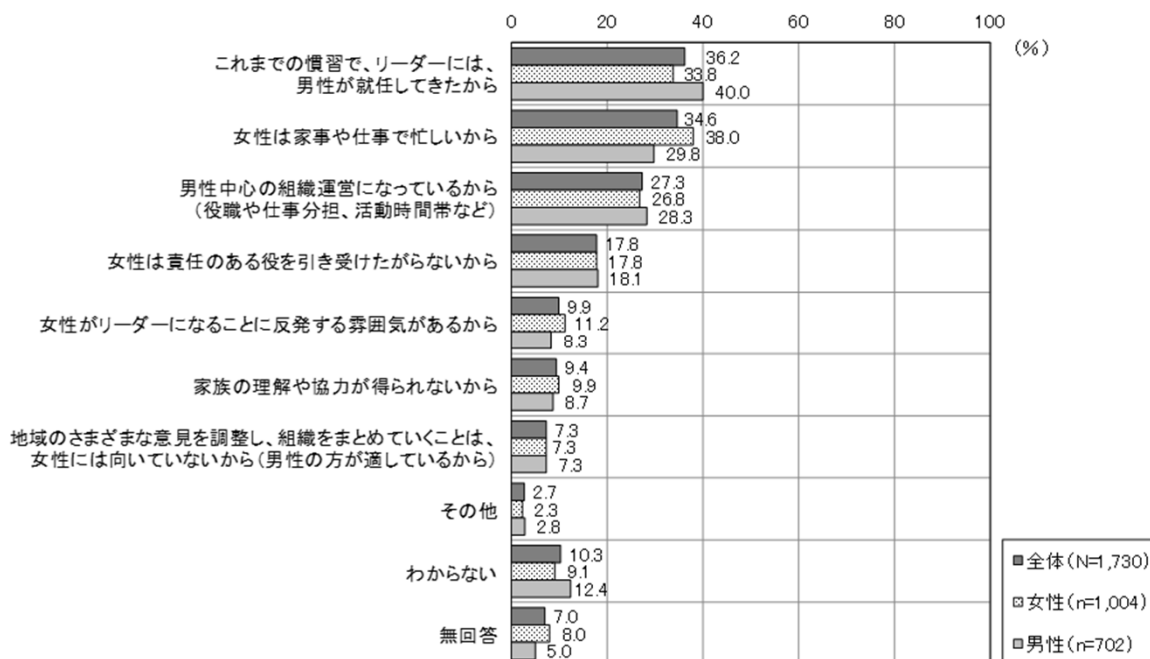
(各年7月1日現在)

団体名	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和6年度		
		女性の割合(%)	女性の割合(%)	女性の割合(%)	女性の割合(%)	女性の割合(%)	総数(人)	女性数(人)	女性の割合(%)
自治協議会(※)		6.7	7.3	7.3	6.0	8.6	152	12	7.9
公民館長		26.5	28.6	31.1	29.9	31.8	148	47	31.8
青少年育成連合会(※)		27.8	30.8	29.8	31.3	35.1	151	54	35.8
交通安全推進委員会(※)		7.4	9.7	8.7	8.7	9.4	155	12	7.7
体育振興会(※)		7.3	6.6	6.0	5.3	7.3	152	11	7.2
環境活動連絡会議(※)		17.8	15.5	19.7	19.7	22.3	160	39	24.4
人権尊重推進協議会(※)		21.2	21.9	18.4	21.9	22.8	146	37	25.3
社会福祉協議会		34.9	38.4	40.1	40.8	38.8	148	56	37.8
老人クラブ連合会		11.7	10.4	10.6	11.2	13.7	120	21	17.5
子ども会育成連合会		43.0	49.4	47.6	49.3	42.6	64	28	43.8
市立小学校PTA		6.3	6.9	10.5	14.7	13.1	140	22	15.7
市立中学校PTA		7.2	1.5	7.2	7.2	7.2	69	5	7.2
地区民生委員・児童委員協議会		70.6	71.2	71.2	73.0	73.9	111	83	74.8
合計		21.1	22.3	22.6	23.4	24.2	1,716	427	24.9

(参考) 男女共同参画協議会	89.9	88.5	86.7	85.9	86.6	150	130	86.7
----------------	------	------	------	------	------	-----	-----	------

※団体の名称は各校区により異なるため、一般的に使用されている名称を記載している
資料：市民局男女共同参画課

○ 地域における団体のリーダーに女性が少ない理由について



資料：令和5年度市政に関する意識調査